

所属・職位	福祉健康科学部 福祉健康科学科 社会福祉実践コース・准教授	
氏名	八木 直樹 (Yagi Naoki)	
取得学位	博士 (文学)、九州大学、2008年3月	
SDGs目標	 4 質の高い教育をみんなに	

研究分野	歴史学
研究キーワード	大友氏、戦国大名、戦国時代
研究内容	<p>1. 室町・戦国時代における大友氏の領国支配に関する研究</p> <p>大友氏は、鎌倉時代以来、豊後（現大分県）を本拠とし、幕府が任命した守護を出身とする大名です。鎌倉・室町・戦国時代を通して約400年間、同じ国を支配し続けた大名家は全国的にもかなり珍しいです。その大友氏が室町時代の守護から戦国時代の戦国大名へと成長できた過程と理由を研究しています。具体的には、領国支配を担った組織はどのようになっていたのか、どのような家臣がどのような役割を果たしていたのかを考えています。</p> <p>2. 豊後大友氏を中心とした九州戦国史に関する研究</p> <p>戦国時代の大友氏は、本拠地豊後以外の国々へと勢力を拡大していきます。そして現地の様々な領主層を支配下に組み入れていきました。戦国大名大友氏と現地の領主層との関係を追及することにより、大友氏を中心とした九州戦国史を叙述したいと考えています。</p>
研究業績・アピールポイント	<p>●論文</p> <ol style="list-style-type: none"> 2019年、八木直樹「耳川大敗と大友領国」黒嶋敏編『戦国合戦「大敗」の歴史学』山川出版社 2018年、八木直樹「大友義統の家督相続時期について」鹿毛敏夫・坪根伸也編『戦国大名大友氏の館と権力』吉川弘文館 2014年、八木直樹「戦国大名大友氏の普請命令と免除特権」稲葉継陽・花岡興史・三澤純編『中近世の領主支配と民間社会—吉村豊雄先生ご退職記念論文集』熊本出版文化会館 2014年、八木直樹「戦国期九州における情報伝達と外交交渉—大友氏の使僧真光寺を中心に—」『九州史学』166号 2013年、八木直樹「戦国大名大友氏の軍事編成と合戦」鹿毛敏夫編『大内と大友—中世西日本の二大大名—』勉誠出版 <p>●著書</p> <ol style="list-style-type: none"> 2021年、八木直樹著『戦国大名大友氏の権力構造』戎光祥出版 2014年、八木直樹編著『シリーズ・中世西国武士の研究 第2巻 豊後大友氏』戎光祥出版